

新規作成 : 1995年 9月20日
改訂日 : 2012年 1月 1日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 F S J (TypeLR2) - 2 R (三菱Jケミカルカラーネガフィルム用漂白補充剤)
会社情報 会社名 : 三菱製紙株式会社
住所 : 〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号
担当部門 : 技術環境部
問い合わせ窓口 : イメージング事業部 I J・フォト営業部 (電話番号03-6500-1479)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分2
皮膚感作性 : 区分2

環境有害性

水生環境有害性 (慢性) : 区分2

*危険/有害性の大きさ (区分) は、数字の小さいほど危険性/有害性が高い。
*記載のないものは、分類対象外または分類できない。

ラベル要素

絵表示



環境



感嘆符

注意喚起語

警告

危険有害性情報

皮膚刺激
強い眼刺激性
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

【予防策】

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【対応】

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

特別な処置が必要である (このラベルを参照すること)。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

【廃棄】

内容物/容器は関連法規に従い廃棄すること。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
一般名 : 漂白補充剤

成分及び含有量	化審法	CAS No.	含有量%
アミノポリカルボン酸鉄塩	【安衛法通知】 届出済	—	40-50
有機酸	既存	—	25-50
臭化アンモニウム	(1)-106	12124-97-9	1-25
有機酸塩	既存	—	1-25

【安衛法通知】の表示のあるものは、労働安全衛生法の通知対象物質を示しています。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 粉を吸入した場合は、直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、医師の手当てを受けてください。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに15分以上、大量の水と石鹸で十分に洗い流してください。汚染された衣服等は脱ぎ、充分洗浄した上で使用してください。異常を感じた場合は医師の手当てを受けてください。
- 眼に入った場合 : 粉が眼に入った場合は、直ちに15分以上、清浄な流水で眼を洗浄したのち、速やかに眼科医の手当てを受けてください。
- 誤飲した場合 : 直ちに水で口の中を良く洗ったのち、コップ1～2杯の水を飲ませてください。速やかに医師の手当てを受け、指示があった場合のみ吐かせてください。意識のない場合は口から何も与えてはならないし、無理に吐かせようとしてもなりません。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用してください。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 散水、炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等
大規模な火災の場合には、散水又は耐アルコール泡消火器
- 使ってはならない消火剤 : データなし。
- 特定の消火方法 : 周辺火災の場合には可能ならば移動可能な容器は速やかに安全な場所に移してください。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させてください。漏出した物質や消火用水等が、河川等に排出されないよう配慮してください。消火活動は出来るだけ風上から行ってください。
- 保護具等 : 消火の際は適切な保護具（自給式呼吸器具、及び完全保護具等）を着用してください。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋等）を着用して回収してください。（8章参照）
- 保護具及び緊急時措置 : 粉塵の発生を防止し、適切な換気を行ってください。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した物質が河川等に排出されないように注意してください。
- 除去方法 : 掃き集めて回収し、廃液タンクに入れてください。その後、漏出箇所を大量の水で洗い流してください。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 熱から保護してください。適切な保護具を着用してください。
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにしてください。取扱い後に、手や顔等をよく洗ってください。
通常使用する場合には、火災防止の為の特別な設備予防措置は必要ありません。
- 局所排気・全体換気 : 製品は容器内に含まれるため、直接換気装置は必要ありませんが、容器から製品を取り出してはなりません。
- 注意事項 : 粉塵の発生を防止してください。
- 安全取扱い注意事項 : 家庭用、工業用の塩素系漂白剤（次亜塩素酸塩）と混合しないでください。
（混合すると刺激性ガスが発生します）
- 保管
- 適切な保管条件 : 混触禁止物質（10章参照）より遠ざけて、乾燥した冷暗所に貯蔵してください。
食品から離れた場所で保管してください。
水から離れた場所で保管してください。
熱や直射日光を避けてください。（推奨保管温度は5－25℃）
子供の手の届くところには置かないでください。
施錠可能な場所に保管してください。
- 安全な包装容器材料 : 密閉容器に保管してください。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱いは換気の良い場所で行ってください。
- 管理濃度 安衛法管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 日本産業衛生学会 : 未設定
- ACGIH/TWA : アミノポリカルボン酸鉄塩 1mg/m³(as Fe)
- 保護具 呼吸器 : 不十分な換気の場合には、適切な呼吸用保護具を着用する。錠剤や粉に直接触れる場合は、簡易防塵マスクを着用する。
- 手 : 錠剤や粉に直接触れる場合は、不浸透性保護手袋を着用する。休憩前及び作業終了時に手を洗う。製品は複数の物質からなる調剤であり、手袋の材質の耐性は使用前に確認しなければならない。
（手袋の材質） ブチルゴム、ニトリルゴム、ネオプレンゴム等
- 眼 : 通常の取扱い条件では必要なし。錠剤や粉に直接触れる場合は、保護眼鏡、及び顔面保護具を着用する。眼や皮膚との接触を避ける。
- 皮膚及び身体 : 通常の取扱い条件では必要なし。錠剤や粉に直接触れる場合は、保護衣を着用する。

9. 物理的及び 化学的性質	形状	: 固体 (錠剤)	色	: 黄色
	臭い	: 認識できる	pH	: 4.2
	融点	: データなし	凝固点	: データなし
	引火点	: 500℃	自然発火温度	: 自然発火性なし
	燃焼又は爆発範囲	: 爆発危険性なし		
	溶解度	: 水に易溶	蒸気圧	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 仕様に従った使用法の場合、分解しない。
危険有害反応可能性	: 酸、アルカリ、酸化剤と反応する。
避けるべき条件	: 直射日光、凍結
混触禁忌物質	: 塩素系漂白剤 (次亜塩素酸塩)、強アルカリ、酸化剤
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物、臭素、臭化水素、アンモニアガス、一酸化炭素、炭酸ガス

11. 有害性情報

製品:

急性毒性LD50	: >2000mg/Kg (ラット経口)
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: Moderate (ウサギ)
皮膚腐食性/刺激性	: Mild P. I. I=0.5 (ウサギ)

成分:

アミノポリカルボン酸鉄塩 (鉄水溶性塩)

急性毒性LD50	: >5000mg/Kg (ラット経口)
	: >2000mg/Kg (ラット経皮)
亜急性毒性NOEL	: 62.5mg/kg/day (ラット雄、経口による28日間反復投与)
	: 62.5mg/kg/day (ラット雌、経口による28日間反復投与)
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: Mild (ウサギ)
皮膚腐食性/刺激性	: None P. I. I=0 (ウサギ)
皮膚感作性	: None 0% (モルモット)

臭化アンモニウム

急性毒性LD50	: 3175mg/Kg (ラット経口)、2860mg/Kg (マウス経口)
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: Moderate (ウサギ)
皮膚腐食性/刺激性	: None P. I. I=0 (ウサギ)

有機酸塩

眼に対する重篤な損傷/刺激性	: Minimal (ウサギ)
皮膚腐食性/刺激性	: None P. I. I=0 (ウサギ)

12. 環境影響情報

成分

アミノポリカルボン酸鉄塩 (鉄水溶性塩)

水生環境有害性	48hrEC50	: >1000mg/l [Daphnia magna]
	96hrLC50	: >1000mg/l [ニジマス]

13. 廃棄上の注意

自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上、産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) を添えて、運搬、処理を委託してください。

廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法: 産業廃棄物、水質汚濁防止法: 生活環境項目、下水道法: 下水の排除の制限】

汚染容器・包材 : 内容物を完全に除去した後に処分してください。

14. 輸送上の注意

船舶輸送は危規則の規定に従ってください。航空輸送はIATA規則の規定に従ってください。

国連番号	: 3077
国連分類	: クラス 9
容器等級	: III
緊急時応急措置指針番号	:

15. 適用法令

安衛法 (通知対象物質)	: アミノポリカルボン酸鉄塩
化管法	: 非該当
毒劇法	: 非該当
消防法	: 非該当
船安法	: 危規則第3条危険物告示別表第1 (腐食性物質)
航空法	: 施行規則第194条危険物告示別表第1 (腐食性物質)
海洋汚染防止法	: 施行令別表第1 (有害液体物質C類) (溶液)

1 6. その他の情報（記載内容の問い合わせ先、引用文献等）

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常の見扱いを対象としたものなので、特殊な見扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも充分でないため、見扱いには充分注意してください。